授業科目　教職概論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	ｽﾎﾟ・栄養
後藤康志	開講時期	前期	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

学校教育の目標や教職の意義を理解し、社会の激しい変化の中で学校教育が置かれている状況や学校教育に対する社会の要請を踏まえ教職をめざすにあたっての基礎的素養を身につける。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．学校教育の目的及び教職員の使命について、その法的根拠に基づいて理解する。
2．子どもをめぐる諸問題への対応について、その背景となる現代社会との関連で理解し自分の言葉で説明できる。
3．国際化・情報化などの新しい教育課題への対応について、その背景となる社会の変化との関連で理解し発表できる。
4．自己の教職への適性を踏まえ、自分なりに教職の意義を説明できる。
5，得られた情報とそこから言えることを批判的に検討し、論理的に記述しようとする。
6．グループ作業や課題に対して主体的に取り組み、自分なりの考えを持とうとする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オリエンテーション：めざす教師像	1,6	講義
2	教職の意義	1,6	講義、グループ討議
3	教職観の変遷　聖職者像・労働者像から専門職へ	1,6	講義、グループ討議
4	教職員の身分と服務義務	1,6	講義、グループ討議
5	教員の任用と服務	1,6	講義、グループ討議
6	教員の身分と勤務	2,6	講義、グループ討議
7	管理職・主任の役割	2,6	講義、グループ討議
8	教師の資質向上と研修	2,6,7	講義、グループ討議
9	教育実習の意義と心得：教職をめざす	2,6,7	講義、グループ討議
10	新しい教育課題と対応のあり方（１）情報化	2,6,7	グループ作業
11	新しい教育課題と対応のあり方（２）国際化	3,6,7	グループ作業
12	新しい教育課題と対応のあり方（３）学力低下	3,6,7	グループ作業
13	新しい教育課題ポスターセッション	3,6,7	ポスターセッション
14	教職値の進路選択と教員採用試験：険しい教職への道を切り拓く意思が君にあるか	4.6	ワークシート、グループ作業
15	まとめ	5,6,7	ワークシート、グループ作業

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年･価格･その他>
教科書（必ず購入する書籍）	佐藤晴雄「教職概論　教師を目指す人のために」学陽書房、2001、2400円
参考書	柴田義松「教職入門」学文社、2003、¥1,800
その他の資料	

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席:10%、ワークシート:１０%、プレゼン１０％ 期末試験70%	期末試験は論述式で行い、求める課題に正対しているかにより評価します。 e-learningシステムを活用した講義配信や課題遂行を行うので、必要に応じてPCやLANケーブルを持参すること。